

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドクターシロクマの重症心身障がい児デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日 ～ 2025年 3月 3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師の配置が多い	1日に複数名の看護師を配置し、安心して利用できる環境を提供している。	大阪発達総合療育センターでの研修や見学にこれからも積極的に参加していくなど自己研鑽の場を増やしていく。
2	児童、保護者のニーズに沿った個別支援計画を立案できている。	各専門職の視点を生かし、こべちゅ支援会議の時間を十分に確保し、計画を作成している。	今後も面談だけではなく送迎時など保護者からの細かいニーズや成長に伴った相談を見聞きし、サービスへ落とし込めるように継続していく。
3	専門職（理学療法士、言語聴覚士、保育士等）が配置されている。	専門職による個別療育時間を設け、実施している。イベントや日々の集団活動なども専門職の視点を生かして実施している。	成長に伴ってニーズも変化していくため、適宜、柔軟な対応ができるよう事業所勉強会だけでなく外部研修にも参加し、自己研鑽に励む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間設備の不十分さ	開設から5年経過し、通所児童の成長に伴い少し療育室内が手狭になってきている。	車椅子やテーブルなど大きな什器を整理するなどし、スペースを確保できるようにする。
2	個室の確保	静養室は整備されているが、個別療育で利用できる個室が設置されていない。	パーティションで区分けをしたり、静養室を代用したりしている。 新しく棚などを設置し、半個室のような空間を確保できるようする必要も検討する。その際にスペースが手狭にならないよう工夫する。
3	保護者会の開催	保護者会の開催を計画できていない。	保護者からのニーズを聞き取り、小規模から開催を検討していく。